

第一回学校関係者委員会 議事録

開催日時：2023年5月25日(木) 13:00-14:30

開催場所：清風情報工科学院 102 教室

出席：

後山 尚氏	株式会社 ソフトウェアサービス [2013年3月卒業]
岩根 裕典	株式会社 今日見堂企画[2010年3月卒業]
平岡 憲人	清風情報工科学院 学校長
林 耕平	清風情報工科学院 学科長
友金 牧人	清風情報工科学院 副学科長
樋笠 聡	清風情報工科学院 職員
土井 佳巳	清風情報工科学院 教員

※以下の出席者は、オンライン参加

岩根 裕典

議事式次第

- ・開会
- ・学校長挨拶
- ・出席卒業生紹介
- ・学校の取組等と今後予定について
 - 2022年度デザイン・コンピュータ学科総括
 - 2022年度シリコンバレー研修について
- ・質疑応答

次回開催：2023年10月末 予定

●学校長挨拶

昨年度に引き続き多くの新生を迎え入れることができた。来年度も同じ規模でいきたいと考えている。ChatGPT がリリースされてから社会にインパクトが起きた。学校の現場としても利用できる方法を模索していくが 1 年生に関しては丸投げになってはいけないうので注意が必要。専攻生はコーディングの補助や企画を考えるのに役立つかと思う。

●コンピュータ学科前期報告

資料をもとに学科長・林から説明

●シリコンバレー研修報告

本年度は 8 月末出発で現地開催予定

■学校関係者評価についての説明および意見交換

(1)教育理念・目標

毎週月曜日に行われている全校生徒に向けた朝礼も、学生・教職員ともに目標を再確認する場として、効果的に機能していると感じます。

- A. 職員一同が教育理念・目標を共有して、より深く具体的に教育現場に活かしていけるように努力していきます。

(2)学校運営

教育理念・目標を踏まえたカリキュラムコンセプトをしっかりと立てられており、新型コロナ対策として見直しも図れていると感じます。「卒業進級制作展示会」は学生自身の成長を企業人が評価するイベントであり、今年度も開催できたことは評価できると思います。

- A. 企業連携では、年間を通じて連携できる企業を増やし、企業、学生にとって魅力的な場を数多く定期的に提供できるように努力していきます。GW 明けには 1 社/複数社の内定があることが予想されるように就活が早期化してきています。コロナ禍の中で引き続きリアルとオンラインを活用した取組を計り早期就職活動に対応できるように努力を続けていきます。

(3)教育活動

各企業が新入社員に何を期待しているか、その変化を学生が感じ取る必要があり、学校にはその為の準備をして欲しい。卒業生が実際の現場で感じているリアルな意見を収集できる体制づくりを継続して、より企業、業界のニーズに沿った教育を勧めて欲しい。また、シリコンバレー研修がしばらく現地で行われていないが状況はどうなっているのか

- A. O B との連携を深め、卒業生による企業セミナーを企画し、連携を深めていきます。自分で調べて何かをできる学生が求められていると基本的には感じます。必要な技術というのは移り変わりが激しく、学校で学んだものだけではなく、入社後に知るものもあり、いろいろ対応できるように最低限が変わらないベースはおさえておく必要が

あると考えています。シリコンバレー研修は学校行事の目玉なので催行可能であればぜひ現地で開催したい。

(4)学習成果

1年次での基礎学力と資格取得の目標に対して、前年より資格取得率が上回ったこと、また、卒業進級制作発表会に向けて下級生が高いレベルでチーム制作の作品を完成させられたことは大いに評価できる。

- A. 1年生の中には休み時間にタイピング練習をしたり、放課後に残って資格勉強をしたりする学生もいます。今も昔もモチベーションの違う学生がいるので、下の学生をどうやって引っばっていきけるかは今後の課題です。

(5)学生支援

コロナ禍で特に高等学校での登校に何かと制限があった学生は、全日登校で体調が崩す可能性があり注意が必要だと思われます。今まで以上に学生に寄り添った支援を行っていただきたい。その中、専門学校ではあまり行われていない保護者会や保護者面談などをこの状況でも継続されていて、情報共有や問題解決など、保護者と協力関係が出来ていると思われます。

- A. コロナが5類となったことでリアル登校が増えることになり、個々への学生への配慮、保護者との連携は、教職員が心掛けて続けます。保護者会をオンラインで実施した結果、例年より多く(特に他府県の出身学生)の保護者参加があり、今後も校内とオンラインを併用して実施していきたいと思います。また、クラスの人数が増えて、授業についていけない学生への手厚いフォローが厳しくなるので習熟度別にクラスを分ける等工夫が必要だと感じています。

(6)教育環境

新型コロナウイルスへの対策として、オンライン授業環境づくりや、学生数増加に伴う実習機器や教室整備など充実を図っている。新任講師には「Webカメラ・インターネットの強化・ZOOMソフトの活用研修」を行っていることは評価できます。

- A. 引き続き学生の安全を第一に考え、状況に合わせた対応を行っていきたいと思います。今後は copilot が付随するので学内 PC を windows11 に入れ替える準備を進めていきます。

(7)学生の受け入れ募集

オープンキャンパスを年間30回以上と開催されており、また学外広報活動では、高等学校内や会場での進学セミナーに参加し入学希望者に情報を伝える努力をしていると感じる。また、学校のホームページには学生作品・オンライン説明会等の情報が発信されていることで入学を検討する上での判断材料となっている。

- A. 入学希望者に対してよりわかりやすく本校の魅力や成果を伝える為、SNS で発信し

ていく努力をしていきます。また、高校生に向けた本学ホームページのリニューアルを行う予定です。

(8)財務

コロナ禍の影響が徐々に少なくなっているかと思いますが、経営的にはどのような状況でしょうか。

- A. デザイン・コンピュータ学科は入学者数が増え、本年度も継続して学生数を確保できています。留学生も入国してきており状況は良くなっていますが、今後また感染拡大等で状況が変化する可能性もあるので注視していきます。

(9)法令等の遵守

留学生に限らず、法令遵守や社会生活のマナー等については、専用に時間を設けるなど、よく取り組んでいると思います。引き続き、継続して取り組んで下さい。

- A. 学校周りは狭い道が多く自転車を使う学生にとってはトラブルの元となっています。地元の阿倍野警察署とも連携・講習会を継続して周知していき、事故トラブルが無いように取り組んでいきます。

(10)社会貢献・地域貢献

地域の祭礼や清掃活動などに参加する機会はあまり無く、周辺地域の方々に学生の姿を見ていただけるため、大切にしているのが学習面だけでないということを知っていただける良い機会であり、継続して行ってほしい。ウクライナ学生支援会については国内外にも影響あり国際支援活動に貢献をしてください。

- A. 新型コロナ禍で活動の機会が減っているが、出来る事に参加して継続して、学外での活動を通じて人間教育をしていきます。ウクライナ避難支援活動を行い、学生支援に取り組んでいきます。応援をお願いします。

次回開催：2023年10月 予定